

研究構想シート	学校名	松江市立美保関小学校
	氏名	周藤航平
A 研究主題 他者と協働し、自らの学びを深めていくみほっ子の育成（2か年） －自他の考えの比較を意識した「伝え合い」を軸にした算数科授業づくりを通じて－		
B 研究の目的 学校経営方針「心も体も健康で、自ら学ぶ意欲とたくましい実践力のある子どもの育成」より、算数科において他者を尊重しながら自分と他者を比較し、知識を再構築したり、関連付けや統合、新しい見方や考え方の発見をしたりするなかで、自らの学びを進んで深めていく児童を育てるため。		
C 子どもの実態 ○人懐っこい ○学習に対しては前向き ○指示はよく聞く ○優しい △自己肯定感の低さ △自分の考えや思いを表現しにくい △学力(二極化) △文章を読んで想像しにくい △聞く力	E 手立て・内容（研究仮説） （研究仮説） 自分と他者の考えを比べながら聴き、数学的に表現し伝え合う活動を工夫した算数科授業を行うことで、他者を尊重しながら一人ひとりのよさや考えを受け止め、思いを伝え合い、それらを組み合わせることで自分の学びを深めていく児童となるだろう。 手立て①「聴く」力を養うためのトレーニング・指導の継続 ・統一した「聞き方あいうえお」の指導 ・聞くトレーニングの実施 手立て②自他の考えの比較しながら「聴く」指導の工夫 ・特定の考えに対して「同じ」や「違う」といった反応を引き出す指導の工夫 手立て③自他の考えの比較を意識した「伝え合い」の類型化 ・「伝え合い」の段階を類型化し、授業づくりを行う。	D めざす子どもの姿 他者を尊重しながら自分と他者を比較し、知識を再構築したり、関連付けや統合、新しい見方や考え方の発見をしたりするなかで、自らの学びを進んで深めていく児童
	F 検証方法 ・聴く力の具体的な育成: 各学年で「聴く」力を養うための取り組みを決定し、チェックシートを用いて実態把握を行う。 ・「伝え合い」の工夫: 日々の授業改善や一人1人実践、児童へのアンケート調査を通じて、「伝え合い」の成果と課題を共有し、実践を繰り返す。	
	G 研究計画 一学期～二学期まで：日々の授業実践や一人一授業 →振り返りをICTを活用して行う。 適宜チェックシートやアンケート集計を行う。 三学期：取り組みや実践の共有・研究のまとめ →今年度の成果と課題をまとめ、次年度に生かす。	